

いつしようべんきよう いつしようせいしゆん
一生勉強、一生青春
こうか あ かていがくしゆう ほうほう
—効果の上がる家庭学習の方法とは—

林 明 夫
(こうえきしやだんほうじんけいざいどうゆうかい かんじ
公益社団法人経済同友会 幹事)
www.kairin.co.jp

なん かていがくしゆう かていがくしゆう たいせつ
1. 何のために家庭学習をするのか—家庭学習の大切さ—

- (1) 学校での授業を忘れないため、身につける(「定着」させる)ため。
(2) そして、テストでよい点数を取るため。
(3) 今日は、効果の上がる家庭学習の方法をお話します。

がくしゆう だんかいりろん み
2. 「学習の3段階理論」を身につけよう

- * 学習には、「理解」(うんなるほどとよくわかること)と「定着」(よくわかったことを身につけること)、「応用」(学んだことを役立てること)の3つの段階、ステップ、階段があります。
* 3つの段階にふさわしい、よく合った学習の方法、やり方を1つ1つ身につけると、勉強がよくできるようになりますよ。1つ1つ説明します。

- (1) 「理解」…うんなるほどとよくわかること…
—「理解」するにはどうしたらよいか—

がっこう じゆぎよう き
① 学校の授業をよく聞く。

- 手を机の上に置き、先生の目を見て、先生の話をよく聞く。
- 授業に積極的に参加する。
- 欠席、遅刻、早退、おしゃべりはなるべくしない。

と
② ノートをよく取る。

じぶん べんきよう い み じしよ じてん しら しら
③ 自分で勉強していて意味がよくわからないことばは、辞書や辞典で調べる。調べたことはノ
ートに書いておき、何回もよく読む。

(2) 「定着」…うんなるほどとよくわかったこと、つまり「理解」したことを身につけること、忘れないようにすること…

* 「定着」の中身は、次の3つです。1つずつやってみましょうね。

① うんなるほどとよくわかったこと、つまり「理解」したことをスラスラ読めるようにすること。できたら、何も見ないでスラスラ言えるようにすることです。

* スラスラ読めて、何も見ないでスラスラ言えるようにするには、何回も、何十回も「声を出して読む練習」(音読練習)が一番です。

* 教科書やノート、教材がスラスラ読めて、何も見ないでスラスラ言えるようになるまで「音読練習」をして、一度うんなるほどと「理解」したことをしっかり身につけましょう。「定着」させましょうね。

* 声を出して読んでいて、ことばの意味がわからなかったら、どんどん辞書を引いて調べましょう。

② スラスラ読めて、スラスラ言えるようになったら、次に大事なものは、正確に書けるようになることです。できれば、音読練習で何も見ないでスラスラ言えるようになったことを、何も見ないで正確に書けるまでにすることです。

* 正確に書けるようにするには、また、何も見ないですべてが正確に書けるようにするには、何回も、何十回も「書いて覚える練習」(書き取り練習)が一番です。

* 教科書やノート、教材に書いてあることが、正確に書けるようになるまで、また、何も見ないで正確に書けるようになるまで何回も、何十回も書き取り練習をしましょう。したことがしっかり身につき、「定着」しますよ。

③ 「計算・問題練習」…なぜこのような答えになるのかが、うんなるほどとよく「理解」できた計算や問題を、スラスラできるようになるまでにすること。問題を見た瞬間にパッパッパッと答えが出るまでにすることです。

* 計算や問題がスラスラできるようになるためには、同じ計算や問題を何回も、何十回も繰り返してやる練習、つまり、計算練習や問題練習が一番です。私は、この2つをまとめて「計算・問題練習」と名付けました。

* 教科書や問題集に出ている計算や問題がスラスラできるようになるまで、パッパッパッと答えが出るまで「計算・問題練習」をすれば、学力が身につきます。しっかり「定着」しますよ。

定着のための三大練習

- (1) 一度うんなるほどよく「理解」したことをしっかり身につける「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」を、私は「定着のための三大練習」と名付けました。
- (2) この3つの練習は、学力をしっかりと身につけさせ、「定着」させますので、「家庭学習」には一番適切と考えます。
- (3) 「練習、練習、また、練習」が大事です。
練習は不可能(できないこと)を可能(できること)にします

(3) 「応用」…うんなるほど「理解」したことを正確に身につけ(「定着」させ)、それを使ってよい点数を取って試験に合格したり、世の中で役立てたりすること…

① 「よい点数」を取るためには

- 一度やったテスト問題を何度もやり直すこと。
- 間違えた問題を書き写した「間違いノート」をつくり、何度もやり直すこと。

② 世の中で役立てるためには

- 「理解」→「定着」したことを、どんどん使ってみること。

3. 家庭で身につけたほうがよいこと

(1) 早寝、早起き、朝ごはん—規則正しい生活—

(2) 5S(ごえす)—S(エス)ではじまる5つのこと—

① 整理(seiri) いらぬものは処分すること

② 整頓(seiton) ものは決まったところに置くこと

③ 清掃(seisou) そうじをすること

④ 清潔(seiketsu) きれいにすること

⑤ 躰(sitsuke) ①～④をすすんでやること

(3) 家の手伝いをすること

(4) 読書をして思慮深さを身につけること

— 本をゆっくり何回も読もう —

* 「書き抜き読書ノート」をつくらう

- (5) 新聞しんぶんをよ読んで、自分じぶんで考える力ちからを身みにつけること
— 小学生しょうがくせいは20分以上ふんいじょう、中学生ちゅうがくせいは40分以上ふんいじょう、高校生こうこうせいは60分以上ふんいじょう新聞しんぶんを毎日まいにち読よもう—
* スクラップブック(しんぶん きぬ ちょう) (新聞切り抜き帳) をつくろう

(6) 躰しつけ

① ことばづかい

- ・ 「です、ます」調ちよう はなで話はなすことができること
- ・ 元気げんきなあいさつげんきができること
- ・ お礼れい いが言いえること

② 美うつくしいたちいふるまい

4. 何なんのために勉強べんきようするのか

(1) よく生いきるため

① 自分じぶんのため

② みんなの役やくに立たつため、社会しやかいの役やくに立たつため

(2) 中学校ちゅうがっこうや高校こうこうに行いき、勉強べんきようで困こまらないため

(3) 社会しやかいに出でて困こまらないため

5. 私わたしの好すきなことば

(1) 一いっしよ所しょ懸けん命めい (一ひとつところの所いのちで命かを懸ねつしんけるくらい熱心ねつしんにものごととに取とり組くむこと)

(2) ブルドッグ 魂だましい (食くいついたら離はなさないこと)

(3) 練れんしゆう習なで泣ないて試し合あいで笑わらえ

(4) 一いっしよ生しよう勉べんきよう強きよう、一いっしよ生しよう青せい春しゆん

いじよう
以上